

NEWS

社団法人 日本インテリアデザイナー協会月報

1985 10・11

デザイン業実態調査の協力について

本年度は国が行なう統計調査の一つ、指定統計調査に、特定サービス産業（デザイン業、物品賃貸業、情報サービス業、広告業、ゴルフ場及びエンジニアリング業の6業種）が対象になっています。（前回調査、昭和57年）

調査は来る12月1日現在で実施されます。無作為抽出により該当された会員はご協力下さるようお願いいたします。以下、通商産業省よりの資料中、ポイントを抜粋して掲載いたします。

- ① 調査に当たりましては、都道府県知事から任命された調査員（調査員証を持っています。）がお伺いしますので、記入の仕方などについて判らない点があれば、調査員にお尋ねいただき正確な内容の調査票を必ず期日までに御提出くださるようお願いいたします。
- ② この調査は、統計法に基づく指定統計調査として行われるもので、統計以外の目的に使用することはなく、秘密は厳重に守られます。また、徴税などのために使われることは絶対にありませんので、調査票にはありのままをお書きくださるようお願いいたします。
- ③ この調査の結果は、特定サービス産業の健全な発展とそこに従事しておられる皆様方の生活向上のために使われます。
- ④ この調査は、皆様の経営の参考資料として役立ちます。
- ⑤ 問合せ先

〒100 東京都千代田区霞が関1-3-1
通商産業大臣官房調査統計部商業統計課
サービス産業統計班
TEL 03-501-1511 内線 2387

目 次

●デザイン業実態調査の協力について	1
●世界インダストリアルデザイン会議名古屋開催決定	2
●デザイナーバンク関連情報	2
●60・第3回理事会議事録	2
●「JID訪中団」報告会	4
●新・検査デザイン課長に藤原治一郎氏	5
●昭和60年度支部総会と懇談会	5
●「都ホテル大阪」見学会報告	7
●設監連創立10周年を迎える	8
●コンペ2題	8
●会員の消息	9
●事務局短信	13

世界インダストリアルデザイン会議

名古屋開催決定

1. 8月27日、米国のワシントンで開催されていた国際インダストリアル・デザイン団体協議会(ICSID)の第14回世界インダストリアル・デザイン会議の場で、4年後の昭和64年に開かれる「第16回世界インダストリアル・デザイン会議」を日本(名古屋市)で開催することが決定された。

なお、第15回(昭和62年)は、アムステルダムで開催予定。

2. 今回の決定は、我が国の活発なインダストリアル・デザイン活動及びレベルの高さへの評価の現れであり、通商産業省は、本会議の誘致によってデザインを通じた我が国産業技術に対するイメージの向上と、国際交流の促進さらに国民のデザインに対する理解と関心が深まるなど、デザインの振興にとって、極めて有意義な会議として期待するものであり、積極的に協力していくこととしている。

3. 世界インダストリアル・デザイン会議は、世界のインダストリアル・デザイナーが一堂に集い、今日の社会においてデザインが果たすべき役割や責任について産業、文化、経済等幅広い角度から検討する会議で、昭和34年に第一回が開催されて以来2年ごとに開催され、加盟国から約3,000名が参加する大規模なものである。

なお、日本では昭和48年に「デザイン・イヤー運動」の一環として行われた京都會議に次いで二度目の開催となり、今回は名古屋市で開催される。

また、名古屋市の計画では、会議と併せて、地場産業に密着した陶磁器や繊維、ファッションの展示会、コンペティション等の多彩な催しを計画しており、全体の事業規模としては、約2億円が見込まれている。

(注) ICSID(International Council of Societies of Industrial Design)は、インダストリアル・デザインのレベルアップと世界のデザイナーの交流を目的に、昭和32年に設立され、本部はブラッセルにある。

現在、38ヵ国、60団体(振興機関、研究機関、職能団体)が加入している。この項、通産省検査デザイン課の資料によりました。

(事務局)

デザイナーバンク関連情報

昭和60年度の通産省立案施策の中に、新聞等で報道されている通称デザイナーバンク(つまりデザイナーの任意登録制度と中小企業の需要掘り起こしを目的とした事業のことを指す)構想がある。実施初年度でもあるので、スケジュールは多少遅れているようだが、関連資料が、9月12日の5団体との懇談会で示されたので、その概略を列記して報告します。

●中小企業デザイン高度化政策

①地場産業デザイン高度化特定事業

60年度は全国都道府県の中から36組合を抽出、デザイナーとのコンタクトを図る。

②デザイナー情報提供事業

60年度はデザイナー5団体を含め、およそ400人程度を目標に登録呼びかけを行う。事務局は財日本産業デザイン振興会内に創設。また、別に本事業のための委員会を組織し、デザイナー関連7団体から委員を派遣、その実施に協力する。

③中小企業デザイン国際化振興事業

年度毎にテーマを定め、主に地方都市を選んでイベントを計画、国際化を推進する。60年度は石川県金沢市で、「国際デザインフェア'85金沢」を60.11.1～4に開催する。

以上がその概要です。②については、60.8月スタート、10～11月募集、年内収録、61.3月カード配布というスケジュール(案)がありますが若干遅れているようです。上記資料を希望の会員はJID事務局(03-403-3649)へ。

(事務局)

60・第3回理事会議事録

日時 昭和60年9月13日(金) (1:30～5:00PM)

場所 JAA 3階 会議室

出席者 三輪理事長、渡辺副理事長

理事 川上信二、川崎 浩、島崎 信、
中田重克、中村圭介、樋口 治、
山品 元、泉 修二、富田卓司

委任状 宇賀徹夫、白石勝彦、中川千年、

I. 報告事項

① J I D '85展 進行状況

9月11日、正副理事長、事務局長3人で(社)国際家具産業振興会の小菅一郎会長、斉藤篤常務理事、榎田均理事を訪問、今後のご協力を要請した。

展示館は第4会場2階、面積は当初450㎡の予定が主催者の都合もあり、現時点で270㎡に変更となった。実行委員会(海老沢宏委員長)では展示出品を現在会員に呼びかけ、また展示計画その他についてツメを急いでいる。

② 中小企業デザイン高度化政策について

通産省検査デザイン課の政策立案である標記事業が実施の段階を迎えた。通称「デザイナーバンク構想」に関連するものである。昭和60年度の重点事業としては、①地場産業デザイン高度化特定事業、②デザイナー情報提供事業、③中小企業デザイン国際化振興事業等がある。

上記のうち、特に②に関連して、(財)日本産業デザイン振興会内にデザイナー登録のための事務局が創設される。他に事業委員会がJ I Dを含む7団体の協力で組織され、協力することになっている。③について、本年度は「国際デザインフェア'85金沢」(60.11.1～4、石川県金沢市)が開催される予定。

③ 「世界インダストリアル・デザイン会議」名古屋開催

去る8月27日に開かれたICSID第14回総会(世界インダストリアル・デザイン会議、米国ワシントン市)で、標記の件が決定した。期日は昭和64年である。幹事団体はJIDAとなろうが、日本デザイン団体協議会、IFI等を通じてJIDA、ICSIDとは友好関係にあるので、J I Dとしても協力体制で臨むことになろう。

④ 訃 報

下記3人の方々が逝去された。正会員渥美孝道殿はお病気で、また他のお2人は8月の日航機事故による。慎んでご冥福をお祈りいたします。

・(正 会 員) 故渥美孝道殿(60.8.29, 享年48才)

・(賛助会員) 象印マホービン(株) デザイン室長
故芦田育三殿(60.8.12, 享年47才)

・(賛助会員) ミサワホーム(株) 専務取締役

故山本幸男殿(60.8.12, 享年48才)

尚、正会員竹内篤殿御令室が病氣加療中のところ、9月7日永眠された。ご冥福をお祈りいたします。

J I Dとして規定に従い、上記の方々に弔意を表しました。

⑤ 日中インテリアデザイン交流代表団報告の件

団長として訪中の、樋口理事から報告された。関西支部では去る8月29日報告会を行った。約30名の出席があり、報告内容について質疑を含め、高い関心のほどが伺えた。関東支部では来る10月4日報告会を行うべく、現在計画を進めている。

⑥ 「IFI 会員作品集」ワーキンググループ経過報告

WG委員長である川上理事より概況の経過報告がなされた。各国へのプレリサーチ、ビニックIFI会長、ハーデンバーグIFI事務局長との意見交換などについて経過が報告された。これに対し、編集実務と出版社、プロポーザルとしての原案作成、収集資料のマネージなどについて三輪理事長、島崎理事等から意見が述べられた。

II. 議 題

① 新年度事業関連事項

㊦ 建設省インテリア設計士(仮称)について

先に新聞等で報道されたように、建設省住宅局長の私的諮問機関である「インテリア懇談会」の報告が8月初旬に出た。これについての資料が事務局より提出され、各理事より今後の方向、対応等につき率直かつ具体的意見が開陳された。

渡辺副理事長により凡そ次のようなまとめが行われ理事会としては今後ともこの線に沿って対応することとした。即ち、

・今後予測される事態を冷静に見すえ、J I Dの創設時からの原点を認識しつつ矜持をもって行動する。

・会員に対しては、資格取得希望の向きも少なくないようなので、それら会員の利益確保の為のサポート(支援)を継続的に行ってゆく。

・資格認定試験制度そのものは協会レベルというより会員レベルの問題なので、その点の理解を

劃然として、事を処する。

また、議長の三輪理事長から、先のJID会員懇談会実施時の会員意見を斟酌しつつ、ハードおよびソフト両面を考慮した「職能と資格問題」というテーマを今後継続的に研究して行く必要があろう、という補足意見が述べられた。

尚、(社)日本室内装備設計技術協会よりの「情報交流のための覚書」試案が事務局より提出、説明された。補足説明およびその経緯について樋口理事から説明があり、理事会はその主旨を了とした。記載内容については第3項及第6項の2点について変更または部分削除することとし、先方と覚書を交換することとした。

回 年鑑出版事業について

年鑑出版特別委員長の中田理事より、次回の年鑑刊行に関するベーシックな諸点につき発言がなされた。即ち、従来より刊行して来た年鑑の販売状況は、必ずしも満足できる状況ではない。特にインテリアデザインに関する情報メディアの環境も近時変化しているので、新年鑑については改めて基本方針、従来よりの問題点等を掘り下げて再確認する必要があるように思う。

以上の発言要旨につき理事会は審議の結果、出版特別委員会(案)を次回上程のうえ、具体的に検討を加えることとした。

② インテリアコーディネーター等の入会について

前回理事会で審議未了の議題である。渡辺副理事長より総括説明があり、理事会はその提案主旨に沿った審議を行った。

特に、島崎、泉、中村理事から意見が述べられた。結果、本議題は組織の根幹に関わる事項でもあるので、会員規定第2条を中心に、今後入会が予測されるインテリアコーディネーター等の入会審議も含め、時代に即した方式を鋭意研究して行くとともに、入会審議に十分時間をかけよう、要望する意見が出された。

③ 協賛関係(3件)

イ. 「国際デザイン会議」

主催：横浜ファッション協会(60.11.18 横浜)

ロ. 「第9回大阪産業デザインコンテスト」

主催：大阪産業デザインコンテスト運営委員会

(60.9～61.2 大阪)

ハ. 「JAPAN TEX '86」

主催：日本インテリアファブリックス懇話会

(61.1.31～2.2 東京)

以上の項目につき、事務局より関係書類が提出された。理事会はこれを審議、いずれも承認となった。

④ 入退会関係(4件)

・入会(3件)

氏 名	種 別	保証推薦者
横 江 禎 子	正 会 員	白石勝彦 森谷延周
石 井 静 香	"	" "
小 関 順 司	"	北原 進 遠藤誠之

・退会(1件)

氏 名	種 別	備 考
東 義 雄	正 会 員	

以上の4件について資料に基づいて審議の結果、いずれも承認となった。

⑤ 議事録署名人選任の件

出席理事のうち、川崎浩、島崎信両氏が議長により指名され、理事会はこれを承認、署名人として選任した。

次回理事会は10月24日(木)大阪の予定。

(以 上)

「JID訪中団」報告会

— 渉外委員会 —

関西支部での8月末報告会に引きつづき、関東支部との共催という形で、報告会が開かれた。以下、報告会の内容速報です。

・'85渉外シンポジウム・2

「日中インテリアデザイン交流代表団報告の集い」

日 時 60.10.4(金) 18:00～21:00

場 所 東京 銀座 TOTOパビリオン9F

テ ー マ 交流報告 — 天津市輕工業局関連、北京中央美術学院ほか

スライド 天津 — 集合住宅、食品街

北京 — 故宮、万里の長城ほか

あいさつ 大野渉外委員長

総合司会 中村圭介

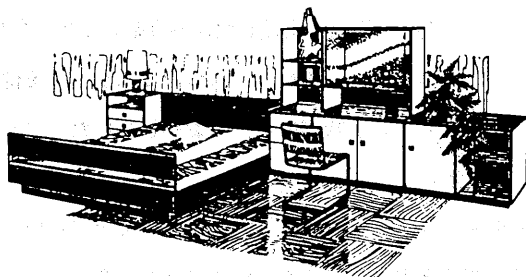
報告・パネリスト

樋口治(関西)、大野美代子、中村圭介、

島崎信、川上信二、日方和城、中田重

克(以上関東)、大橋義博(中部)

報告会は定刻に開始された。最初に軽食を楽しみながら和やかに進行した。訪中の概要について大野委員長が触れ、司会進行は中村圭介さんが担当した。訪中団に参加のメンバーがあらかじめテーマ分担した内容の報告で、それぞれ分担分についてのスライドを交えた報告方式は内容の重複も少なく、平明で理解し易かった。



天津市家具技術研究所 宿志剛(画)

特に豊富な資料から各自が厳選して持ちよったものだけに、映写は見応えがあった。現代中国という異なる社会組織をデザイナーの目で垣間見た被写対象は生き生きと訴えるものがあった。また、大阪から特別出席の、代表団長樋口治さんから団員として参加した会員へ改めてねぎらいの言葉があり、また、JIDの訪中に際し示した中国側の配慮に感謝する旨発言された。また、第一回の訪中団として所期の目的を果し得た喜びも言外に溢れた。

交流団員として参加された加集喜雄、香川顕郎、日方夫人、も交え、報告会への会員出席は33名で、懐しい顔も多かった。

報告会のしめくくりとして矢吹宏渉外委員から、「これからのインテリアデザイン — アジアとの交流」というテーマについて提言と現状分析が行われた。最後に、去る8月29日急逝した前渉外委員故渥美孝道さんへ、哀悼の辞が捧げられた。

時間の関係で割愛せざるを得なかった内容を惜しむ声や、Part 3を企画したらどうかという意見も、出席者から出、

報告会は好評の中に終了した。

尚、会員外の出席者は、広島の高堀氏やJICAデザイン研修生バク氏など11名。他に報道関係の取材もあった。定刻21時散会。

(文中一部敬称略、順不同、事務局)

新・検査デザイン課長に藤原治一郎氏

JID 主務官庁である通産省貿易局検査デザイン課長に藤原治一郎氏が9月17日付で着任された。藤原新課長は札幌通産局総務課長よりの本省栄転。北欧でのお仕事の経験もあり、デザイン事情にも造詣が深い、とお見受けした。今後大いに期待したい。また、小川前課長は大臣官房付となられ、東欧圏をご担当と、うけたまわっている。在任中は短期間ではありましたが、種々のご尽力まことにありがとうございました。ますますのご発展をお祈りいたします。

昭和60年度支部総会と懇談会

— 中部事業支部 —

中部事業支部では今年度事業推進にあたり、去る7月、例年通り一泊計画で支部総会を開いた。また、これを機会に併催の形で研究会、懇談会、見学会と、中身の濃いイベントを行った。以下、林寅正支部長よりの報告(一部省略)です。

◎支部総会

日時 昭和60年7月6日(土) PM 5:00 ~ 6:00

場所 岐阜県郡上郡八幡町 備前屋

出席 池田、宇賀、小柳、関、田村、栃谷、林、堀内、本多、前田、八代、山本、葭原、広瀬の各氏及び事務局より中村氏、計15名

① 中部事業支部長あいさつ

第13回中部事業支部総会を、岐阜の会員皆さんの御努力によって開催できた事、梅雨のしきりなき名古屋、北陸、高山等遠路から参加していた事への御礼、59年は大橋氏の工房見学、2月のJID展、新しく三重の廣瀬一氏を会員に迎え中部支部も大きく活動した事等のあいさつがあつ

た。

② 議長選出

池田氏を議長に選出し、議事に入った。

③ 議 事

池田氏より、本日の中部支部総会出席正会員数14名、委任状15名、正会員42名中29名、従って成立することの報告があり、以下議事に入った。

1) 昭和59年度事業報告 事業委員長山本氏より

2) 昭和59年度決算報告 事務局中村氏より
夫々別紙の通り、以上一括承認された。

3) 昭和60年度支部役員の選出について

議長池田氏より別紙のように提案があり、原案通り承認された。

4) 昭和60年度事業計画案審議 事業委員長山本氏より説明

5) 昭和60年度予算案審議 事務局中村氏より説明、夫々別紙原案通り一括承認された。



④ その他

1) 新入会員広瀬氏の紹介 推薦者堀内氏より

廣 瀬 ^{はじめ} 氏

三重県桑名市三ツ矢橋 69

Tel 0594-22-0758

有限会社 新 巧 舎 を自営

力づよい会員を得ました。事業委員会で頑張っていたゞく事になりました。

2) 第17回 J I D 通常総会の報告 理事宇賀氏より

3) 次回の第14回 J I D 中部事業支部総会は来る昭和61年6月頃に愛知県内で行うことに決定しました。よろしくお願いします。

⑤ 新支部長挨拶 林

60年度の J I D 中部事業支部の方向と共に中部デザイン界の動きの一つであるインテリア産業協会中部支部の発足の間近いこと、ICSIDの中部における開催の話があること等から益々 J I D 内部のコミュニケーションをよくする必要のあることを力説した。

◎ 研 究 会 (第2回)

日 時 昭和60年7月6日 PM 5:30 ~ 10:00

場 所 郡上郡八幡町 備前屋

出 席 池田、宇賀、小柳、関、田村、栃谷、林、堀内、広瀬、本多、前田、八代、山本、葭原、中村の各氏

テーマ オルガテクニック'84を見て 宇賀氏
'82の状況と比較しながら今後のオフィスファニチュアのありかたについてスライドを併用し、約1時間にわたりお話しをいただいた。

◎ 懇 談 会

備前屋は郡上八幡の街の中、長良川にそそぐ吉田川の瀬音が聞える古い宿である。切り立った自然の崖をそのまゝ庭にとりこみ、おりからの梅雨にその崖もけむる程の中を三重県、名古屋、高山、福井、金沢と中部のJIDメンバーが14名も集っていたゞきました。嬉しい事です。総会も、研究会も、かたい事は無事にすんで皆はっとして、大広間に集りました。

当夜の客は私達だけ、栃谷氏の乾杯に始まり、季節の鮎料理に舌つづみをうち、のむほどに、酔うほどに、いつしか坐をはなれてあちらこちらで歓談がしきりと行われました。殊にはるばると出席いただいた関さん、八代さん、前田さん達女性メンバーや広瀬さん、葭原さんと随分と話がはずんでおりました。

宴も酺の頃、此処は郡上踊の地、土地の踊と囃子の名手が席にやってきました。

「かわさき」「げんげんばらばら」「春駒」……次々と郡上踊のあれこれをみせたあとで、私達と一緒に踊ろうということになりました。郡上踊の講習会です。

大きな輪になって、皆がおどりましたが、歌と手と足が仲々一つになりません。山本さんや広瀬さん、栃谷さん達はうまいものでした。

J I D 会員が一つになって隔った、というのは素晴らしいことです。

楽しい懇談会でした。

尚、席上池田氏から J I D ゴルフクラブを始めましょうとアピールがあり、相当数の皆さんの参加がいたゞけそうです。

◎見学会（リトルワールド）

日 時 昭和60年7月7日(日) 9:30～17:00

場 所 郡上八幡市

犬山市、リトルワールド博物館

出 席 郡上八幡市 参加者会員

リトルワールド博物館

宇賀、関、田村、栃谷、林、堀内、広瀬、

前田、山本、中村の各氏

郡上八幡は古い城下町である。旧城下町だけに町名だけでも職人町、杵形町、鍛冶屋町、殿町……と情緒のつたわる町案内板が目につく、民家は間口せまく奥に深いうなぎの寝床といった平面で二階には「そでうだつ」がつきでている。長良川、その支流である吉田川と水が豊富にあり、鮎の季節でもあるが生憎の梅雨、雨にふられて、早めに散策を切りあげた。

こゝで葭原氏他とわかれ同行10名車でリトルワールド博物館に向う。雨やまず……。

人間博物館 リトルワールドは広い丘陵地に21種類の世界各地から集めた家がたっている。最初は疲れているから半分くらい見て帰ろうか等と話していたが、雨の中をとうとう一周してしまった。韓国の旧地主の家、南アフリカのカッセーナ族の家、アラスカのトリンギット族の家とか、シリアのベトウィンの天幕等興味深い家が建てられている。不便な地であるが面白い見学先であった。

夕刻5時すぎまで一杯に見学をして無事終了、解散をした。皆さん有難うございました。

(中部支部 林寅正)

「都ホテル大阪」見学会報告

－ 関西事業支部 －

事業委員会（山口道夫委員長）では、去る9月21日午後、見学会を開催した。当日は定員いっぱいの参加者があり、設計側の村野・森建築事務所と近鉄百貨店装工部のご厚意で、パブリック・プライベート両スペースの細部見学をすることができた。誌上より厚く御礼申し上げます。

見学会終了後、短い時間ながら和やかに懇談の場を持つことができ、週末の有意義な時間を過ごすことができた。

参加者：川崎浩、山口道夫、山崎晶、夏原晃子、石村徹之、加藤礼三、矢留富三、秋田純孝、金子誠之助、井関黎一、渋谷章、村上健、上辻謹一、三上泰伸、秋田嘉正、植松暉子（外）、（順不同、敬称略）

役員選挙のお知らせ(第2報)

本年は前号で既報のように、2年任期の役員選挙が行われる年です。次期（昭和61年4月1日～63年3月31日任期）の役員を「役員選挙規定」にのっとり、下記スケジュールで実施します。正会員各位の大切な権利行使です。積極的にご協力下さい。

1. 投票用紙配布	10 / 15	正会員全員一覧表
2. 選挙PR(第2回)	22	J I D NEWS (10月号誌上)
3. 投票〆切	11 / 14	通信投票〆切
4. 定足数	20	定足数確認
5. 開 票	25	本部にて選管委員会
6. 報 告	1 / 中旬	昭和61年 J I D NEWS 1, 2月号

尚、「役員選挙規定」は配布済の会員名簿中、21ページ～23ページに全文が記載されておりますので、ご参照下さい。スケジュール等お問い合わせは、本部事務局（03-403-3649）まで。（委員長：工藤広忠）

設監連創立10周年を迎える

J I D本部事務局の隣室にある、日本建築設計監理協会連合会、永井賢城会長（会員数1,688社通称設監連）では、本年が創立10周年にあたる。かねてより記念行事の計画を進めて来たが、去る9月27日、京都国際会館で、内外より多数の参加者を得て大会を開催した。J I Dからも、理事長代理として川崎浩理事（関西支部長）が式典に出席し、お祝を申し上げた。以下概略を報告します。

- ・創立10周年記念大会テーマ「語り合おう京都で・建築の未来」
- ・式典 会長挨拶、来賓祝辞、設監連の「提言発表」、
「行動規範」宣言、功労者表彰
- ・特別講演会「古都の美と愛」講師 瀬戸内寂聴氏
- ・その他 夕刻5時より懇親パーティ

京都市美観風致賞パネル展示（事務局）

コンペ2題

① 第2回ショップシステムコンペ

- ・主 催 (財)店舗システム協会
- ・賞 最優秀賞（賞金100万円）ほか優秀賞、奨励賞など。
- ・募集作品 A部門 売り場デザイン・陳列ソフトウェア
提案
B " 什器設計案
C " 論文
- ・募集期間 60. 8. 10 ~ 11. 20（当日消印有効）
- ・審査員 委員長 菊竹清訓氏ら9氏
- ・受付及問合せ先
(財)店舗システム協会
「第2回ショップシステムコンペティション」事務局
〒106 東京都港区六本木5-2-1
ほうらいやビル301
電話03-401-4021(代)
FAX 03-402-5033

② 第9回 大阪産業デザインコンテスト

- ・主 催 大阪産業デザインコンテスト運営委員会

- ・賞 金賞（賞状及び副賞50万円）ほか銀賞、銅賞、佳作など。

- ・募集作品 タオルおよびタオル地の用途開発デザイン
現代の多様化した生活環境にふさわしいタオルおよびタオル地の新しい使い方について、
提案的なデザインの応募を期待します。

- ・募集期間 60. 12. 2 ~ 4（10:00 ~ 16:00）、郵送
は12. 2 発送分まで。

- ・審査員 谷川順一氏ら14氏

- ・受付及問合せ先

(財)大阪デザインセンター業務部

〒541 大阪市東区船場中央2-2,

船場センタービル4号館2階

電話06-262-5661(代)

高岡短期大学来春開学

正会員の黒岩靖司さん（産業デザイン学科教授・正会員）から、いよいよ来春開学する同短大に関するニュースが届きました。誌上にて簡単にご紹介いたします。

① 学科構成（数字は募集定員）

- ・産業工芸学科（金属工芸（20）、漆工芸（15）、木材工芸（15）、産業デザイン（20）各専攻）
- ・産業情報学科（経営実務（40）、情報処理（40）、ビジネス外語（45）各専攻）

以上のうち、特に漆工芸は戦後初めての学科新設です。

② 環境

①に見るように、地域性に根ざしたユニークな内容もさることながら、その環境も申し分ありません。高岡市北部の自然環境に囲まれた10万平方メートルの広大な敷地に、教育・研究機能が十分に果たせるような施設等が建設されています。

③ 問い合わせ先

- ・黒岩靖司氏（電話0766-25-8411(代)内線25
産業デザイン研究室）

- ・〒933 高岡市中川園町1番1号

富山大学工学部構内

高岡短期大学総務課学務係

（宛名明記の上返信用封筒又はハガキを同封のこと）

専門家のご紹介

本年度から下記の専門家が、新たにJ I D会員のために協力下さることになりました。特に今回の、小野木日出勝氏には、本部事務局でも会計事務の効率化の面から助言を受けることになりました。

昨年度からの個人事業税の新設など、特にフリーランスの立場にある会員諸兄にも、日常の業務に関連して種々、会計上の疑問などが生じることがあるかと思えます。その際は時間の許す限り、電話問合せなども含め助言をお願いしてありますので、J I D会員であることを告げて、お気軽にご相談下さるようおすすめいたします。

小野木日出勝事務所

税理士 小野木 日出勝
(東京税理士会会員)

〒182 東京都調布市入間町1-27
電話 03-309-6600

会員の消息

◇ 加 集 喜 雄

皆様益々御健勝のこととお慶び申し上げます。このたび下記の処へ転居致しましたのでお知らせ申し上げます。

山手線大崎駅下車徒歩5分位目黒川のほとりで便利です。
お近くにお越しの節には是非お立寄り下さいませ。
今後ともよろしく願い申し上げます。(名誉会員)

〒141 東京都品川区北品川5-8-15
北品川ホームズ1405
電話 447-2340

◇ おおた あきこ

私、6月末日にて、12年勤務致しました株式会社メックデザインインターナショナルを退社し、フリーなデザイナーとしてやっていくべき決意を致しました。同じ様な立場の友人達と仕事場も確保致しましたので、これからは皆様の助けをかり今までやりたかった仕事にどんどん挑戦し、仕事の範囲を広げて行きたいと思っております。これまでのお礼と感謝を申し上げますと共に、今後のお引立てご助

言を賜りたくご挨拶申し上げます。(関東)

〒107 東京都港区赤坂7-2-17-301
TEL 03(404)3635(直)FAX(404)8456
(404)2941(代)

◇ 川上玲子・白石勝彦・中田重克・山本棟子

遠い昔から築き上げられてきた和のデザイン。この世界にさまざまな分野からの5人挑戦しました。それぞれが日本の美を見つめ直し、現代の住空間に調和するインテリアを創りました。会期中、多数の方々のご参観を得、また暖かい評価をいただきました。誌上よりご挨拶いたします。

期間 60.9.20~10.2

場所 東京 有楽町阪急8階コミュニティギャラリー
名称 新・和風展

◇ 秋 野 稔

この度プラス株式会社を円満退社し、日本生命直系の大星ビル管理株式会社事業部オフィスインテリア担当として勤務いたしております。

在職中公私ともに格別の御厚情に預かり、厚く御礼申し上げます。(中略)オフィスプランニングの経験を今後日本生命ビルのテナント、オーナービル等により良い環境提案をしていく次第です。

昨今特に、V D Tワークステーションの環境に対する関心度が高く、その御要望に答えられる様努力する次第です。今後ともよろしく願い申し上げます。(関東)

勤務先 大星ビル管理株式会社事業部
オフィスインテリア担当
〒103 東京都中央区日本橋2-13-12
(日本生命江戸橋ビル内)
電話 (278)1070・1079番

◇ 香 野 昭

今般社命により、これまでのデザイン課を離れてこの程新に開設するGALLERY MA “間。”の運営に当る事になりました。

このギャラリーは、建築家、インテリアデザイナーの作品紹介を通して、多くの方々の邂逅の場を広く提供していきたいとの主旨から、TOTOが自主企画10月25日より

一般公開するものです。

デザイン課在籍中の多大な御厚情に対し改めて衷心より御礼申し上げますと共にGALLERY "間," の開館を御案内申し上げます。(賛助・東陶機器株式会社)

GALLERY MA TEL 402-1010

〒107 東京都港区南青山1-24-3

TOTO乃木坂ビル3F

◇ 中 沢 ひろし

この度都合により下記に事務所移転と決まりました。まだ一向に片つきませんが、お通りがかりの節は是非お立ち寄り下さい。まだまだ未熟者ではございますが今までと同様宜敷くお願い申し上げます。(関東・準)

〒153 目黒区中目黒4-10-29

エスポワール中目黒404号

TEL 713-0399

エス重縫デザイン研究所

◇ 佐戸川清・山岸証史

ハイテック インテリア デコレーションのテーマで、絨空間演出の共同展を開きました。台風接近のお天気にもかかわらず、多数の方々のご来場を得ました。誌上より御礼申し上げます。(関東)

期間 60.9.24~28

場所 東京 ギャラリースペース21

◇ 土 屋 晃 一

先に有限会社土屋上田デザイン事務所を設立いたしました

が、早いもので3年余りとなりました。

この度昭和60年10月1日より有限会社土屋デザイン事務所と名称を変更することいたしました。改称後はより一層充実した業務内容で着実に向上をはかって行きたいと思っております。(後略)(関東)

〒422 静岡市小黒1丁目10番24号 吉田ビル2F

TEL 0542-86-2774

FAX 0542-82-1656

◇ 佐々木 浩

心ならずもご無沙汰しております。今夏の暑さはこたえましたが、皆様はいかがでいらっしゃいましたか。

若さ(?)と健康には自信があった私が、去る3月23日、社内打合せ中、突然倒れ、救急車で入院、即刻手術を受けました。「脳内出血」でした。医療センターの先生方の適切な治療のお蔭で、6月には退院、殆んど後遺症らしきものもなく、現在業務に復帰、目下ならし運転中です。

健康の有難さを身にしみて感じた数ヶ月でした。どうか皆様、呉々もご自愛下さい。ご健康を祈念しております。(お詫び:丁重なお手紙でしたが、紙面の都合上要旨のみ掲載いたしました)

◇ 竹 内 篤

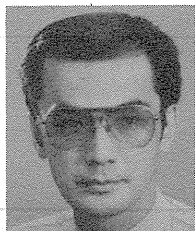
この度は妻の死去にあたり、早速ごていねいなお悔やみのお手紙と香典を賜わり厚くお礼申し上げます。

JID会員の皆様には、あらためて御挨拶文を書きますのでそのせつはよろしく事務局報に御掲載下さいますようお願い申し上げます。取り急ぎお礼申し上げます。(関東)

新入会員の紹介

正 会 員

よこ え てい こ 横 江 禎 子 (会員番号 588) 	〈勤務先・事務所〉 〈自 宅〉 〈推薦者〉	㈱インテリア・アイ 東京都世田谷区上馬5-2-8-102 〒154 03-487-8510 東京都目黒区中町2-22-10 〒153 03-793-1624 白石勝彦・森谷延周
---	--	---

いし い しず か 石 井 静 香 (会員番号 589) 	〈勤務先・事務所〉 ㈱インテリア・アイ 東京都世田谷区上馬5-2-8-102 〒154 03-487-8510 〈自宅〉 横浜市緑区あざみ野4-5-5 〒227 045-901-6502 〈推薦者〉 白石勝彦・森谷延周
お ぜき じゅん じ 小 関 順 司 (会員番号 590) 	〈勤務先・事務所〉 ㈱ジェイ・オー・ビー 東京都渋谷区桜丘15-8 高木産業会館313号室 〒150 03-476-1077 〈自宅〉 東京都渋谷区初台2-23-5 パシフィックパレス新代々木204号 〒151 03-379-6891 〈推薦者〉 北原進・遠藤誠之

会員の異動

正 会 員

会 員 名	異 動 事 項	新
袴 田 穰 一 (関西) P. 154	勤 務 先 住 所	〒541 大阪市東区本町4-15-1 御堂筋本町ビル
秋 野 稔 (関東) 新入会員	勤 務 先	大星ビル管理㈱ 事業部オフィスインテリア担当 調査役 〒103 東京都中央区日本橋2-13-12 日本生命江戸橋ビル 03-278-1070 , 1079
安 藤 和 子 (関東) 新入会員	勤務先郵便番号	〒163
太 田 明 子 (関東) 新入会員	勤 務 先 事 務 所	㈱メックデザイン・インターナショナル 退社 フリー 〒107 東京都港区赤坂7-2-17-301 03-404-2941 (代) 3635 (直)

光 藤 俊 夫 (関 東) P. 109	勤 務 先	㈱竹中工務店東京本店 退社
加 藤 喜 雄 (名 誉) P. 29	自 宅	〒141 品川区北品川5-8-15 北品川ホームズ1405 03-447-2340
川 野 明 (関 東) P. 60	自 宅	〒251 神奈川県藤沢市本鵠沼2-3-23
土 屋 晃 一 (関 東) P. 89	事 務 所 名 称	㈱土屋デザイン事務所

準 会 員

坂 山 正 一 (関 東) P. 210	勤 務 先 住 所 電 話	〒160 東京都新宿区新宿2-19-1 03-356-3261
中 沢 ひろし (関 東) P. 212	事 務 所	〒153 目黒区中目黒4-10-29 エスポワール中目黒404号 03-713-0399
溝 口 雅 彦	勤 務 先 社 名	㈱名鉄銀座メルサ二丁目店

賛助会員

松 下 電 工 ㈱ 総合技術研究所 P. 250	電 話 番 号 (ダイレクトイン)	総合技術研究所 業務課 06-908-5919 " " 直通06-908-3668 " 総合デザインセンター 06-908-0102
鹿 島 建 設 ㈱ インテリア デザイン部 P. 231	郵 便 番 号	〒163
象印マホービン㈱ P. 239	担 当 者	デザイン室 課長 井 上 経 倫

会議と会合

〔10月〕

〔9月〕

4日 デザイン政策懇話会
12日 JID '85展、実行委員会
13日 60・3回 理事会
19日 JID '85展、実行委員会
20日 イタリアモダンデザインシンポジウム
21日 見学会、関西事業支部
24日 インテリア短期研修海外留学生歓迎会

4日 日中インテリアデザイン交流代表団報告の集い
渉外委員会・関東事業支部委員会
8日 JID '85展、実行委員会
〃 教育委員会
16日 JID '85展、実行委員会（予定）
18日 総務委員会（予定）
22日 渉外委員会・出版委員会、会議（予定）
24日 60・4回 理事会（予定）

寄贈図書（・印寄贈者）

・トソー出版	THE ROMAN SHADE BOOK (ローマンシェードブック)	9・19	
〃	インテリアブック II	〃	
・日本インテリアファブリックス懇話会	カーテン・カーペット品質表示の 統一化について	9・20	
〃	品質表示関連資料集	〃	
・日本特殊合板工業会	特殊合板便覧		
・多摩美術大学	多摩美術大学研究紀要		

事務局短信

- ① 次期役員選挙が始まっています。正会員の方々は、2年に1回の大切な権利行使です。スケジュールに従いがい、棄権等のないよう選挙管理委員会にご協力下さい。
- ② 10月17日から第2回国際デザインフェスティバルが開幕です。関西支部を中心に、24日の“デザイナーレ”等には多数会員の出席が見込まれています。
- ③ 11月20日から東京国際家具見本市が予定されています。
JID '85展実行委員会（委員長海老沢宏さん）の活動
に、皆様ぜひ積極的なご協力をお願いいたします。

④ 会費未納の方々へお願い

会計年度も下期を迎えました。上期に会費未納の方へ現在請求書を発送しておりますが、ぜひとも積極的なアクションをお願いしたいと思います。

⑤ 過年度会費未納の方へお知らせ

昨年度から、会員規定の一部（権利の停止期間が原則として6ヶ月と短縮）が改訂されました。11月を以てその期限が来ます。除名という最悪の場合を避ける意味で、早目の納入をお願いいたします。

（事務局）

JID賛助会員ディレクター (抜 粋)

ホ ウ ト ク 販 売 (株) 東京都千代田区神田和泉町1-277 〒101 秋葉原協銀ビル6F (03) 866-7291 大溝 浩 (インテリア部)	(株) 松 坂 屋 上野支店家具装飾部 東京都台東区上野3-29-5 〒110 (03) 832-1111 内線2250 秋谷秀雄 (設計課長)
松 下 電 工 (株) 大阪府門真市大字門真1048 〒571 (06) 908-0102 大堀治宣 (綜合技術研究所 綜合デザインセンター)	ミ サ ワ ホ ー ム (株) ホームイング事業部 東京都杉並区高井戸東2-4-5 〒168 (03) 331-1111 内線512 横山英俊 (住設事業部インテリア開発グループ主事)
三井ホームインテリア (株) 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル42F 〒163 (03) 342-4933 蒲 米彌 (業務部部長)	(株) 三 越 東京都中央区日本橋室町1-7-4 〒103 (03) 241-3311 (内3760) 駒場芳幸 (営業本部 家具電器部部長)
三 好 木 工 (株) 東京都文京区湯島4-9-2 〒113 (03) 811-3221 三好基資 (代表取締役社長)	村 上 敷 物 (株) 本社 大阪府堺市原山台5-17-7 〒590-1 (0722) 97-0161 今辻勝利
モ ビ リ ア (株) 東京都港区麻布台2-3-5 〒106 (03) 582-3341 中島基之 (取締役推販部部長)	(株) ヤ シ マ 製 作 所 東京都中野区弥生町1-53-7 〒164 (03) 372-1211 白川竣一郎 (代表取締役)
ヤ マ ギ ワ (株) 東京都千代田区外神田4-1-1 〒101 (03) 253-2111 (代表) 中井康夫 (照明事業部 営業販促マネージャー)	山 田 照 明 (株) 東京都千代田区外神田3-16-12 〒101 (03) 253-5151 青木 章 (設計部次長)

JID NEWS 1985/10・11 (日本インテリアデザイナー協会月報1985年通巻第136号)

頒価300円 (送料共)

編 集・社団法人 日本インテリアデザイナー協会総務委員会

昭和60年10月25日発行

中村圭介・合田正甫・大和宏・前原誠・安藤孚

発行・社団法人 日本インテリアデザイナー協会

村口峯子・高木敦子・山品元・西沢圭三

柏原秀夫 (関西)・溝口新 (九州)・田村悠 (中部)

印刷所・広洋印刷株式会社

振 替・東京 8-76389